

女性技術者からひとこと

応用地質(株)東北支社技術部

茂呂 直美

私は出身地を聞かれるといつも困ってしまう。なぜなら、両親とも北九州市出身で私も北九州市の病院で生まれたのだが、北九州に住んだことはなく、育ったのは神戸、大阪なのだ。両親から伝えられる習慣、文化は九州のものが多いが、私は大阪文化の中で育った。きっと「出身は大阪です(正確には吹田市だが)」と答えておけばいいのだと思うのだが、コテコテの関西人ではないし、つい最近まで標準語だと信じていた九州弁もいくつかある。血は100%九州のものだし、九州人だな~と自分で感じることもあるので、場合によっては地元は九州と答えたりもする。ところで、どうして人は出身地を訪ねるのだろう? たいてい初対面の人や、知り合って間もない人にはこの質問をする。とりあえず会話のきっかけとなるというのが一番の理由だろう。その次はその人をすこしでも理解するための予備知識として、つまりその人のバックグラウンドを探るためだろう。出身地がその人の人間性にどれほどの影響を及ぼすかは個人差があるだろうが、出身地が同じというだけで親近感がわき共通項をたくさん見つけ始める。自分とは違う出身でも、知り合いと同じ出身地だと、それだけで少しはその人をわかつた気になることが出来る。

私は高校卒業まで大阪、大学時代は仙台、就職して福岡に住み、今まで転勤で仙台に戻ってきてている。他の土地は良くは知らないが、この三ヵ所は確かに文化も人間性も景色も違うとつくづく感じる。景色という点から言うと、大阪は真っ平らで広い平野が広がった横長の景色で、山といえば遠くに生駒の山並み(言つても1000mにも満たない山々なのだが)がうつすらと見える程度である。福岡はわりと近くに丸っこい花崗岩の山々が位置している。仙台はというと市街地にまで険しい山が迫っている。だだっ広い平野にビルが林立する大阪で育った私には、東北新幹線に乗って初めて東北を訪れたとき、迫る険しい山に感動しつつも息苦し

さを感じた記憶がある。そういえば東北の盆地で生まれ育った友達と車で東京方面へ行ったことがあった。関東平野に入って視界が開け、山並がスッ~と遠ざかると、その友人は「周りに何にも無くてなんだか不安だ」と言っていた。ところがその時私は懐かしい景色だと感じていて、同じ景色を見ていても生まれ育った環境によってそんなに感じ方が違うもんなんだな…と思った。こういうのが出身地ごとの地域性に影響を与えているんだろうか。

最近ある本を見つけた。「森林の思考・砂漠の思考」という本である。まだ読み始めたばかりなのだが、要するに「豊かな自然に周りを取り囲まれている森林ではあらゆるものに精霊が宿る多神教が、厳しい自然条件の砂漠では神は超越者一人だけだという一神教が生まれた」という話らしい。ここに至る論理は今読んでいる最中でまだ十分な説明はできないが、自然環境(ここでは見通しの良さ・悪さ)が人間の思考形態に多大な影響を及ぼしているというのだ。この本には日本の植生圏と文化圏を比較する図というのも載っていた。といえば高校3年生の時社会科選択の話で、「地理よりも歴史の方が時間軸があって覚えやすいはず」という私の意見に対して、地理を選択した友達が自慢気に言っていた。「地図を見ながら気候区分と地形・地質(土壤?)さえ覚えてしまえば、農業・鉱業分布も工業地帯も都市も貿易も全部それに関連してるんだって。だから地理は以外と芋蔓式に覚えやすいんだよ!」しまった! と思いつつも結局日本史を選択した私だったが、今になってその言葉を思い出し、あてはめてみると「植生を決めるのは気候と土壤で…、気候は緯度や地形に因っていて、土壤は地質に大きな成因があるはず…」と考えていると地形・地質と文化や地域性の相関なんてものがあるんじゃないかという気がしてきた。まあ、大きな河川や高い山が障壁となつて文化が伝わらないというような話は良く語ら

山間部の地質と地域性

れている事だが、“地質”と“その土地に発生する文化なり地域性”ということになるとどうだろう？ 山間部の地滑り周辺には水が豊富で緩斜面があるから集落ができやすく、もちろん地滑りには地質が大きく関与しているとか、大きな断層沿いにも線状の平坦な土地ができるため都市や道路が発達しやすいとか…。う～ん、地域性まで結びつけるにはもうひと山という感じだ。こんな話って私が知らないだけで業界(どの業界だ?!)では考えられている事なんだろうか？

もう原稿の締切りも迫っているというのに、なんか話がまとまらなくなってきた。会社の人が「地

質屋さんって話が発散するばかりで、なかなか収束しないよね」と言ってたことがある。「ホント困っちゃいますよねー」なんて答えていたが、私もそうだったのか…。仕方ないから募集のコーナーにしてしまおう！

こんな自然環境(特に地質!)と文化・地域性の関連についておもしろい本や研究があつたら応用地質株式会社東北支社技術部の茂呂まで是非紹介してください。よろしくお願いします！

(そんなことしてないで、技術士の勉強でもしてろっ！ て言われそうだな…)

